

年間授業計画

足立東 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（い組：高士）（ろ組：長谷川）（は組：久光・大野）（に組：新井・吉田亘）

使用教科書：（大修館書店「現代の国語」）

教科の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な言語知識を身に付けさせる。	言語感覚を磨き、適切かつ効果的に表現する能力を養わせる。	進んで表現することで、国語力の向上を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	単元：表現を味わう 【知識及び技能】 語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語りでの役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の心情の変化をとらえさせる。	・対比の関係に着目し、その意図を考えながら読ませる。 ・具体例の働きや具体と抽象の関係をとらえ、筆者の主張を読み取らせる。 山崎正和「水の東西」 ・筆者の主張とその根拠を意識しながら読ませる。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読ませる。 今井むつみ「オカビの胃袋はいくつか」	○	○	○	【知識・技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとしている。 【知識・技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、対比の関係、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	25
	単元テスト		○	○		○	○		1	
2 学期	単元：伝え合いのレッスン 【知識及び技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 対話の力やコミュニケーション力を高めることに興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを身につけさせる。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを身につけさせ、対話させる。 徳村 弘「他人に声をかける」 ・意見と理由を備え、反対意見をふまえた説得力のある意見文を書く。 ・自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして効果的に主張したり、反論したりする。 池谷裕二「人工知能が教えてくれるもの」	○	○	○	【知識・技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対話の力やコミュニケーション力を高めることに興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 【知識・技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由（根拠）の関係を考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。	○	○	○	13
	単元テスト		○	○		○	○		1	

	単元：情報と向き合う 【知識及び技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 視点や根拠に注意し、図表などから必要な情報を意欲的に読み取ろうとしている。	・図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 ・文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考えさせる。 佐藤雅彦「情報の力関係」				【知識及び技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとしている。				13
		・図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 ・筆者の主張と根拠の関係を吟味しながら読ませる。 小林洋美「世界は私にほほえんでいる」								
		単元テスト								1
3 学 期	単元：社会に目を向けて 【知識及び技能】 筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、筆者の主張を的確に読み取り、文章の内容について自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・筆者の問題意識と主張を、具体例に気をつけながら読み取らせる。 ・読み取ったことをふまえて、自分の考えを広げさせる。 姜尚中「何のために『働く』のか」				【知識及び技能】 例示や言い換えなどの述べ方について理解している。 筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえている。 「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。				15
		単元テスト								1
										合計 70